



さんたり

北九州市立板櫃中学校 学校通信
令和4年度 第8号
発行責任者 校長 飯田 聖二
令和5年2月9日 発行

【1年生】令和4年度北九州市学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

北九州市教育委員会による「北九州市学力・学習状況調査」について、令和4年12月6日(火)に、1・2年生を対象として、「教科(国語、数学、理科、英語)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	北九州市の平均正答率との比較
国語	「話すこと」「読むこと」の領域の正答率は市の平均を上回っていたが、「書くこと」「言語事項」の領域の正答率は市の平均を下回っていた。「国語の授業内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が市の平均を上回っていた。	同程度である
数学	「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の全ての領域の正答率が市の平均を上回っていた。「数学の勉強が好きだ」「数学の授業内容がよく分かる」と回答した生徒の割合が市の平均を上回っていた。	上回っている
理科	「物理」「化学」「生物」「地学」の全ての領域の正答率が市の平均を下回っていた。「理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。」と回答した生徒の割合が市の平均を上回っていた。	下回っている
英語	「聞くこと」「読むこと」の領域の正答率は市の平均を上回っていたが、「書くこと」の領域の正答率は市の平均を下回っていた。「英語の勉強が好きだ」と回答した生徒の割合が市の平均を上回っていた。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。」

「人が困っている時は、進んで助けている。」

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」

「他の生徒に自分の気持ちを伝えたり、相手の意見を聞いたりすることができる。」

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。」

「きまりを守りながら、遊んだり、学習したりすることができる。」

上記の質問項目に対する本校生徒の肯定的回答が市の平均を上回っていた。規範意識や自己有用感の高さがみられる。

また、学習面においても「勉強が好き」「授業がよくわかる」といった、学習に前向きな回答が多かった。今後も継続して生徒が関心をよせる授業の工夫に取り組んでいく。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

「自分には、よいところがあると思う。」

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」

「友達は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。」

「将来の夢や目標をもっている。」

「自分は努力すれば、たいいていのことはできるようになると思う。」上記の質問項目に対する本校生徒の肯定的回答が市の平均を下回っていた。近年コロナ禍において、様々な取組が中止又は簡略化され、生徒が主体的に仲間と協力しながら行事に取り組む体験が少なくなった。今後はより自己肯定感が育まれるよう、学級活動や学校行事の充実を目指す。

